

# 広がるCCUS

技能者情報の追加変更を支部事務所でも変更できるようになりました。新しく資格を取得した、住所が変わった、所属事業所が変わったなど、当初の登録から変更になった場合は情報を修正していく必要があります。

登録とは違うため組合員限定の受付となります。事務費1100円がかかりますが、自身で変更するのが難しいという方は組合を利用して下さい。

合わせてレベル判定も支部事務所で行えるようになったので次回紹介します。



前月、「拡大は仲間作りではないか」と問いかけてきた。「仲間を辞書で引くと、「一緒に物事をすすめる人」と出てきます。支部報2月号裏面に「点滴穿石」と書かれています。組合活動は一滴一滴仲間を増やし、岩の隙間を現実の風穴をあける集まりではないでしょうか。今回は「企業交渉」を考えたい。

大手ゼネコン、住宅メーカーと春・夏に企業交渉をしているのを知っていますか。それも1984年から36年間に渡り、73回行われ

ているんです。組合、です。いいと思いませんか。たしかに労働条件は労働者と使用者が対等な立場で決定すべきもの」と法律にはうたっています。現実にはそんなものではありませぬ。大企業に声を上げると生活が出来なくなる、と間違いないです。雇い入れの無いゼネコンが志した理由はなせか。

## 拡大から交渉へ

全建総連結成時(1960年)7万3千人であつたものが23年目にして38万人余と4倍強の拡大を遂げた。

町場中心とみられた組合が住宅メーカーの進出によるかけ持ち仕事、野丁場での組合員の増加と業界地図が変わる中、組合の構成も変化する時代であった。労災事故・倒産・不払いの相談などが組合に寄せられ、「どの現場にも組合員がいるのが驚いた」と担当者、認めざるをえない存在になった。一方、建設業法による「特定建設業者

は下請け業者を指導監督する義務がある」とする一文はテーブルにつくことを決定づけた。1984年、第一回交渉に向け記念すべき決起集会が小金井公会堂で開かれ、決議文は宣言する「8時間労働の賃金、他産業並みの賃金、労働条件・人工積算無視の単価切り下げ反対、法定福利費・労務、現場管理費など最低20%以上計上せよ」と。要求が現状と変わらぬこと、驚くと共に、企業側の厚みを改めて思い知らされます。

## 交渉36年の成果

第一に現場の建設労働者の組合として、ゼネコンやハウスメーカーから認められたこと。第二に現場の問題解決のための恒常的交渉窓口を設置し早期に対応できるようにになったこと。第三に不払いや労災事故の解決の積み重ねにより、組合主導による道を作り出して来たこと。その転機になったのは「企業従事者

## 森しいち議会報告

4月4日段開票の小平市長選挙において組合からのご推薦をいただき元立憲民主党小平市議会議員「小林洋子」さんが見事に当選し新市長となりました。小平市・西地区の組合員の皆様には、ドライバー等たくさんのお力をいただき、私からも心より感謝申し上げます。さて、西東京市におきましては、3月30日に第1回定例議会が終了し、令和3年度(暫定)予算のスタートとなりました。引き続き、予算チェックをしっかりと行っていきます。



## 集団健診のお知らせ

- 集団健診をご希望の方は申込書を記入の上、夕摩北支部までお申し込みください。
- ① 6月6日(日) 会場：東大和中央公民館(夕摩中央支部主催)
- ② 6月13日(日) ※6日から13日に変更 会場：サンエールさがみほら(夕摩支部主催)
- ③ 6月20日(日) 会場：小平福祉会館
- ④ 7月4日(日) 会場：東久留米わくわく健康プラザ
- ⑤ 9月5日(日) 7月20日より受付
- ⑥ 7月11日(日) 会場：小平福祉会館(夕摩中央支部主催)



組合員のお子様、小・中学校に入学されると組合共済より1万円の入学祝を給付します。対象の方は印鑑を持って支部事務所へ!